

まりもクリニック院長 牧野 良彦MDに聞く

これからの注入治療は、真皮の細胞外マトリックスのリモデリングで「肌の再生」

美容医療こそ一生涯付き合えるホームドクターの役割が求められるとして、開業から現在に至るまでその姿勢は変わらない。まりもクリニック院長の牧野 良彦医師である。美容皮膚科から美容外科までのトータルな治療を、幅広い年齢層の患者のホームドクターとして応えてきている。そんな牧野院長は、美容医療は、注入剤を利用したアンチエイジング治療へとその傾向が著しいとしつつ、一方でヒアルロン酸注入などによる「形を作る」一歩リニュームアップをする「治療が」ともするとヒアルロン酸の過注入のリスクを伴うことから、より自然な仕上がりが期待できる注入治療が求められてきたと指摘する。2005年、ヨーロッパでジャルプロとサーモン注射が登場し、いち早く自らの治療に導入しなが、独自のプロトコルを考案しつづけてきた経験と知見から、これからの注入治療は、真皮の細胞外マトリックスのリモデリングを重視した治療コンセプトに置き換わる」と示唆する。本紙JHM編集部が名古屋に飛び、牧野医師の考える「注入治療」再生治療」といえる大変興味深いお話を聞きに行った。本稿では、インタビュー形式で掲載させていた。

「ミラノ注射」で知られる ジャルプロ導入

本紙編集部 形成外科専門医として開業18年を迎えられています。ここ最近の「まりもクリニック」での診療、治療内容の傾向はいかがでしょうか？

牧野 良彦MD 美容外科、プチ整形、美容皮膚科、最新の美容治療でトータルなアンチエイジング治療を行うようになり



本紙編集部
そこは先生のポリシーで

まきまです。大切なのは、医師がすべてを決めるのではなく、患者様が自身でゴールを明確にされたうえで、最もふさわしい方法を選ぶこと。まりもクリニックではカウンセリングを徹底して行い、患者様と共にゴールをめざします。

本紙編集部 弊紙は、以前から美容医療こそ積極的なアンチエイジングの医療の一つだと捉え、報道側として提唱してきました。

牧野 良彦MD その通りだと思います。老化を防ぎつつ、いつまでも美しさを維持する「アンチエイジング」という観点から考えれば、ある意味、美容医療こそ一生涯付き合えるホームドクターが必要といえるでしょう。まりもクリニックでは、美容に関する幅広い年齢層の方々のホームドクターとして、美容皮膚科から美容外科までトータルな治療をお応えして

本紙編集部 美容皮膚科における、アンチエイジング治療のトレンドについて教えてください。

牧野 良彦MD 近年の美容皮膚科で最もその傾向が著しいのは、注入剤を利用したアンチエイジング治療です。これまでは、ヒアルロン酸注入剤を患者様が希望されるゴールに向けて、「形を作る」一歩リニュームアップをする「治療が一般的でした。しかし、ヒアルロン酸の過注入症候群（Overtreated Syndrome）のリスクが注目されるようになり、より自然な仕上がりが期待できる治療が求められるようになり、繊維芽細胞が多く、コラーゲン繊維やエラスチン、ヒアルロン酸が豊富で、配置も整った

本紙編集部 大変興味深いお話です。そのジャルプロについて教えてください。

牧野 良彦MD ジャルプロは2005年にProfessional Dermal SA社（プロフェシヨナル デルマ サ社）が開発したヒアルロン酸とヒアルロン酸が主成分のアンチエイジングのための注射剤です。メーカは、製造工場がイタリアのミラノにあり、「ミラノ注射」として一部では親しまれています。製品の販売開始後、100万件以上の症例実績があり、世界で最も支持されているコラーゲンフィスターと認識されています。ジャルプロは細胞外マトリックスを改善することで、肌を好ましくない生理的変化をプラスに調整することを大きな目的としています。

本紙編集部 酸とカクテルする「anti-aging」の2種類が準備されています。

本紙編集部 自らのコラーゲン生成を促す、コラーゲンフィスター作用に着目した美容皮膚科や糸リフトなどの施術があり、ますが、真皮中のコラーゲンの組成、生理作用をもっと詳しく教えてください。

牧野 良彦MD コラーゲンは、アミノ酸が繋がってできるチエーン（鎖）3本が、それらせん状に構造されています。3つの異なるアミノ酸が繰り返して配列することでより安定した状態となり、アミノ酸が繰り返す三重らせん構造（トリプルヘリックス）に重なり、全体の30%以上含まれています。このトリプルヘリックス構造は、X線回折法で確認されています。海外の文献でも検証されており、エビデンスが豊富です。

本紙編集部 また、リジンは肌のトーン改善が期待でき、ロイシンは、細胞外マトリックスを活性化させる効果があります。これらのアミノ酸が真皮にある繊維芽細胞の栄養となり、コラーゲンやエラスチンの生成を増進させる働きがあります。また、アミノ酸とカクテルすることで、ヒアルロン酸は注入周辺に水分を引き寄せ、肌の保湿効果が高まり、更に、注入されたアミノ酸（足場）として作用します。

本紙編集部 本紙編集部 本紙編集部 本紙編集部



100万症例もつコラーゲンブスターを、自らのプロトコルで検証、評価する

本紙編集部 生理的変化を放置しておくとしわやたるみの原因となります。

本紙編集部 このコラーゲンをいかに美肌治療で蘇らせていくかが重要な点ですね。

牧野 良彦MD ジャルプロは4つのアミノ酸とヒアルロン酸を治療の直前にカクテルして使用します。ジャルプロは配合されているアミノ酸はグリシン、プロリン、ロイシンで構成されています。コラーゲンの構成において最も出現比率が高く、ジャルプロのアミノ酸には、グリシンが最も多く50%を占めており、コラーゲンの生成において特に重要な役割を果たします。このグリシンの役割については、海外の文献でも検証されており、エビデンスが豊富です。

本紙編集部 ジャルプロの成分、アミノ酸を主成分とした注入剤は、他にありませんか？

牧野 良彦MD ジャルプロは、アミノ酸とヒアルロン酸を配合した注入剤です。スネコスは、ジャルプロをベースに開発された製品です。ジャルプロは2005年に開発されましたが、スネコスは2017年だったと認識しています。成分の違いはアミノ酸の種類がジャルプロが4種類に対して、スネコスが2種類追加されており、合計6種類です。また、カクテルされたヒアルロン酸も2製品とも低分子と高分子の2種類があります。私個人は、2019年から約1年間、スネコスの検証をしてきており、スネコスをとても高く評価しています。

本紙編集部 本紙編集部 本紙編集部

本紙編集部 ジャルプロは2005年にProfessional Dermal SA社（プロフェシヨナル デルマ サ社）が開発したヒアルロン酸とヒアルロン酸が主成分のアンチエイジングのための注射剤です。メーカは、製造工場がイタリアのミラノにあり、「ミラノ注射」として一部では親しまれています。製品の販売開始後、100万件以上の症例実績があり、世界で最も支持されているコラーゲンフィスターと認識されています。ジャルプロは細胞外マトリックスを改善することで、肌を好ましくない生理的変化をプラスに調整することを大きな目的としています。

本紙編集部 ジャルプロの成分、アミノ酸を主成分とした注入剤は、他にありませんか？

牧野 良彦MD ジャルプロは、アミノ酸とヒアルロン酸を配合した注入剤です。スネコスは、ジャルプロをベースに開発された製品です。ジャルプロは2005年に開発されましたが、スネコスは2017年だったと認識しています。成分の違いはアミノ酸の種類がジャルプロが4種類に対して、スネコスが2種類追加されており、合計6種類です。また、カクテルされたヒアルロン酸も2製品とも低分子と高分子の2種類があります。私個人は、2019年から約1年間、スネコスの検証をしてきており、スネコスをとても高く評価しています。

本紙編集部 ジャルプロの成分、アミノ酸を主成分とした注入剤は、他にありませんか？

牧野 良彦MD ジャルプロは、アミノ酸とヒアルロン酸を配合した注入剤です。スネコスは、ジャルプロをベースに開発された製品です。ジャルプロは2005年に開発されましたが、スネコスは2017年だったと認識しています。成分の違いはアミノ酸の種類がジャルプロが4種類に対して、スネコスが2種類追加されており、合計6種類です。また、カクテルされたヒアルロン酸も2製品とも低分子と高分子の2種類があります。私個人は、2019年から約1年間、スネコスの検証をしてきており、スネコスをとても高く評価しています。

本紙編集部 ジャルプロの成分、アミノ酸を主成分とした注入剤は、他にありませんか？

牧野 良彦MD ジャルプロは、アミノ酸とヒアルロン酸を配合した注入剤です。スネコスは、ジャルプロをベースに開発された製品です。ジャルプロは2005年に開発されましたが、スネコスは2017年だったと認識しています。成分の違いはアミノ酸の種類がジャルプロが4種類に対して、スネコスが2種類追加されており、合計6種類です。また、カクテルされたヒアルロン酸も2製品とも低分子と高分子の2種類があります。私個人は、2019年から約1年間、スネコスの検証をしてきており、スネコスをとても高く評価しています。

本紙編集部 ジャルプロの成分、アミノ酸を主成分とした注入剤は、他にありませんか？

牧野 良彦MD ジャルプロは、アミノ酸とヒアルロン酸を配合した注入剤です。スネコスは、ジャルプロをベースに開発された製品です。ジャルプロは2005年に開発されましたが、スネコスは2017年だったと認識しています。成分の違いはアミノ酸の種類がジャルプロが4種類に対して、スネコスが2種類追加されており、合計6種類です。また、カクテルされたヒアルロン酸も2製品とも低分子と高分子の2種類があります。私個人は、2019年から約1年間、スネコスの検証をしてきており、スネコスをとても高く評価しています。

本紙編集部 ジャルプロの成分、アミノ酸を主成分とした注入剤は、他にありませんか？

牧野 良彦MD ジャルプロは、アミノ酸とヒアルロン酸を配合した注入剤です。スネコスは、ジャルプロをベースに開発された製品です。ジャルプロは2005年に開発されましたが、スネコスは2017年だったと認識しています。成分の違いはアミノ酸の種類がジャルプロが4種類に対して、スネコスが2種類追加されており、合計6種類です。また、カクテルされたヒアルロン酸も2製品とも低分子と高分子の2種類があります。私個人は、2019年から約1年間、スネコスの検証をしてきており、スネコスをとても高く評価しています。

本紙編集部 ジャルプロの成分、アミノ酸を主成分とした注入剤は、他にありませんか？

牧野 良彦MD ジャルプロは、アミノ酸とヒアルロン酸を配合した注入剤です。スネコスは、ジャルプロをベースに開発された製品です。ジャルプロは2005年に開発されましたが、スネコスは2017年だったと認識しています。成分の違いはアミノ酸の種類がジャルプロが4種類に対して、スネコスが2種類追加されており、合計6種類です。また、カクテルされたヒアルロン酸も2製品とも低分子と高分子の2種類があります。私個人は、2019年から約1年間、スネコスの検証をしてきており、スネコスをとても高く評価しています。

本紙編集部 ジャルプロの成分、アミノ酸を主成分とした注入剤は、他にありませんか？

牧野 良彦MD ジャルプロは、アミノ酸とヒアルロン酸を配合した注入剤です。スネコスは、ジャルプロをベースに開発された製品です。ジャルプロは2005年に開発されましたが、スネコスは2017年だったと認識しています。成分の違いはアミノ酸の種類がジャルプロが4種類に対して、スネコスが2種類追加されており、合計6種類です。また、カクテルされたヒアルロン酸も2製品とも低分子と高分子の2種類があります。私個人は、2019年から約1年間、スネコスの検証をしてきており、スネコスをとても高く評価しています。

本紙編集部 ジャルプロの成分、アミノ酸を主成分とした注入剤は、他にありませんか？

牧野 良彦MD ジャルプロは、アミノ酸とヒアルロン酸を配合した注入剤です。スネコスは、ジャルプロをベースに開発された製品です。ジャルプロは2005年に開発されましたが、スネコスは2017年だったと認識しています。成分の違いはアミノ酸の種類がジャルプロが4種類に対して、スネコスが2種類追加されており、合計6種類です。また、カクテルされたヒアルロン酸も2製品とも低分子と高分子の2種類があります。私個人は、2019年から約1年間、スネコスの検証をしてきており、スネコスをとても高く評価しています。

本紙編集部 ジャルプロの成分、アミノ酸を主成分とした注入剤は、他にありませんか？

牧野 良彦MD ジャルプロは、アミノ酸とヒアルロン酸を配合した注入剤です。スネコスは、ジャルプロをベースに開発された製品です。ジャルプロは2005年に開発されましたが、スネコスは2017年だったと認識しています。成分の違いはアミノ酸の種類がジャルプロが4種類に対して、スネコスが2種類追加されており、合計6種類です。また、カクテルされたヒアルロン酸も2製品とも低分子と高分子の2種類があります。私個人は、2019年から約1年間、スネコスの検証をしてきており、スネコスをとても高く評価しています。

本紙編集部 ジャルプロの成分、アミノ酸を主成分とした注入剤は、他にありませんか？

牧野 良彦MD ジャルプロは、アミノ酸とヒアルロン酸を配合した注入剤です。スネコスは、ジャルプロをベースに開発された製品です。ジャルプロは2005年に開発されましたが、スネコスは2017年だったと認識しています。成分の違いはアミノ酸の種類がジャルプロが4種類に対して、スネコスが2種類追加されており、合計6種類です。また、カクテルされたヒアルロン酸も2製品とも低分子と高分子の2種類があります。私個人は、2019年から約1年間、スネコスの検証をしてきており、スネコスをとても高く評価しています。

本紙編集部 ジャルプロの成分、アミノ酸を主成分とした注入剤は、他にありませんか？

牧野 良彦MD ジャルプロは、アミノ酸とヒアルロン酸を配合した注入剤です。スネコスは、ジャルプロをベースに開発された製品です。ジャルプロは2005年に開発されましたが、スネコスは2017年だったと認識しています。成分の違いはアミノ酸の種類がジャルプロが4種類に対して、スネコスが2種類追加されており、合計6種類です。また、カクテルされたヒアルロン酸も2製品とも低分子と高分子の2種類があります。私個人は、2019年から約1年間、スネコスの検証をしてきており、スネコスをとても高く評価しています。

●本稿で紹介されているジャルプロについてのお問い合わせは、JHM編集部 info@jhm.jp へお送りください。また、お問い合わせ先は、貴重なお話を聞かせたい、ありがとうございます。お問い合わせ先は、JHM編集部 info@jhm.jp へお送りください。また、お問い合わせ先は、貴重なお話を聞かせたい、ありがとうございます。お問い合わせ先は、JHM編集部 info@jhm.jp へお送りください。また、お問い合わせ先は、貴重なお話を聞かせたい、ありがとうございます。